

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25209
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学 文学部 日本文学科	開催方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 ( 本学 ) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	文学の楽しみ					
	学問分野	番 号	11	名 称	文化・文学	
3. 担当教員	内田 誠一・吉目木 晴彦 (文学部 書道学科・日本文学科)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和3年8月3日 (火) 10時30分 ~ 14時30分 (90分×2回)					
個別開講日	1回目 8/3	2回目 8/3				
5. 募集定員	30人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p><b>1. 漢詩の味わいかた -愛する人への思いを読む-</b> 10:30~12:00 (内田 誠一)</p> <p>唐代と宋代の有名な詩人の作品から、愛する人への思いを歌った詩を読んで味わっていきます。どのような部分に注意して読めばよいのか、漢詩をどう味わったらよいのか、ということは高校ではあまり習っていないのではないのでしょうか。大学での学びは、みなさんが主体的に考えることが大事です。漢詩の意味がわかかったら、それにとどまることなく、味わうことが大切です。その味わい方を、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。百人いれば百通りの味わい方があると思います。自分自身の味わい方を見つけてください。配布プリントは、訓読と現代語訳が付いているので、誰にでも理解できます。</p> <p>今回味わう漢詩は次の作品です。</p> <p>唐代 杜甫「月夜」(遠く離れた妻を思う)          唐代 薛涛「春望詞 四首」(片思いのあの人に)          宋代 王安石「贈外孫」(かわいい孫に贈る)</p> <p><b>2. 文芸創作論 13:00~14:30 (吉目木 晴彦)</b></p> <p>近代リアリズム小説における物語の作り方を、実例を挙げて教える。          実例に挙げるのはスタンダール「赤と黒」冒頭部分で、これを外的構成(プロット)・内的発展(ストーリー)・登場人物(キャラクター)の3要素に分け、互いの関係について講義する。また、制作プロセスでの工夫の仕方についても教授する。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 ( 人 ) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月9日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月10日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと オンライン(同時・録画)の使用ソフトなど 女子に限る。なお、2回目の「文芸創作論」は、事前にゴーゴリ著「外套」(岩波文庫版)を読んでおくことが望ましい。					
11. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。  
 コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講またはオンライン(同時・録画)へ変更になる場合があります。